

企業・社会で活躍する 人材育成のために

公益社団法人経済同友会
執行役 藤巻 正志

2017年1月31日 東京／日本大学会館

JASSO(平成28年度)キャリア教育・就職支援ワークショップ

本日のトピックス

1. 企業が採用で求める人材

- 求める4つの資質・能力、大学での学び、重視する経験

2. 大学への期待

- 人格、教育、経験

3. インターンシップ

- 目的、対象、課題、就活との関連、採用はワンチャンスから通年へ、望ましい姿

4. 教育改革委員会(2016年)の活動

- 「経済同友会版インターンシップ」～実施2年目に向けて

1. 企業が採用で求める人材～求める4つの資質・能力

- 変化の激しい社会で、課題を見出し、チームで協力して解決する力（課題設定力・解決力）

必要なこと

- ✓ 常に社会情勢に関心を持ち、なぜそうなるのか考える習慣
- ✓ 思考のベースとなる基礎学力や教養
- ✓ 他者に何が課題か説明し、理解を得て協働していくための双方向での対話力（コミュニケーション力）、課題解決に向けた企画力、実行力

- 困難から逃げずにそれに向き合い、乗り越える力（耐力・胆力）

必要なこと

- ✓ 学生時代から様々なことにチャレンジする（失敗経験を活かす）

- 多様性を尊重し、異文化を受け入れながら組織力を高める力

- 価値観の異なる相手とも双方向で真摯に学び合う対話力（コミュニケーション能力）

コミュニケーション能力とは、

- ✓ 企業内外の公の場で、上司や部下、同僚あるいは顧客等、相手の主張を正しく理解して円滑に対話できる力
- ✓ 臆することなく自らの考えを明確に述べ、説得することができる力（交渉力も含む）

必要なこと

- ✓ 個人として信頼される人間力の豊かさ
- ✓ 価値観の異なる相手と相互に認め合い、学び合う姿勢（協調性）
- ✓ 相手をよく理解して自己の考えを明確に伝えるための知識や教養

学生が学びを深める教科として
リベラルアーツの重要性

入社後に活躍する社員は「4つの資質・能力」を有する

新しい企画やアイデアを生み出したり、複雑な問題も考え分析し、自分で考えながら自律的に進める事ができる人。また、大勢の意見をまとめ物事を進めていける集団統率力のある人。

しっかりと自分の考えを持っており、かつ発信でき、仕事を覚えるプロセスのルーティンワークにもしっかりと対応できる人材。

与えられた課題に対し、その本質を見極めようとする積極的な姿勢を持つ者。また、その過程で先輩や上司等、周囲の社員としっかりコミュニケーションが取れる者。友人との会話とは質が異なる。

- **変化の激しい社会で、課題を見出し、チームで協力して解決する力**
(課題設定力・解決力)
- **困難から逃げずにそれに向き合い、乗り越える力**(耐力・胆力)
- **多様性を尊重し、異文化を受け入れながら組織力を高める力**
- **価値観の異なる相手とも双方向で真摯に学び合う対話力**
(コミュニケーション能力)

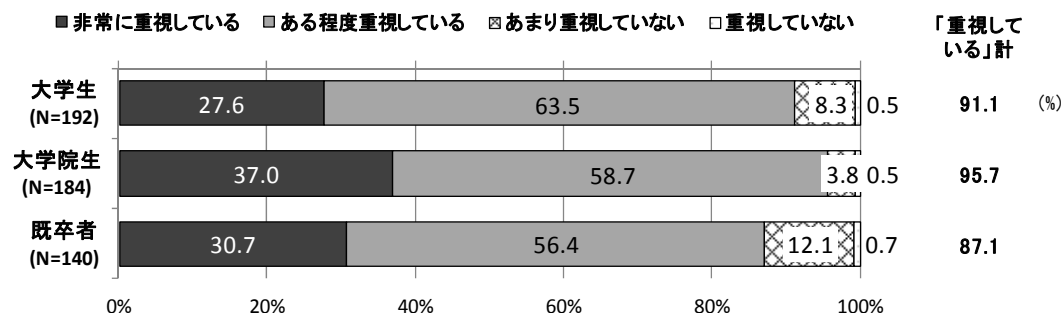
自発的に自らの意志で行動を起こすことができ、また組織人としての倫理感を持ちセルフコントロールすることができる。

自分の考えをしっかりと持ち、周囲を上手に巻き込みながら業務を遂行していくタイプ。

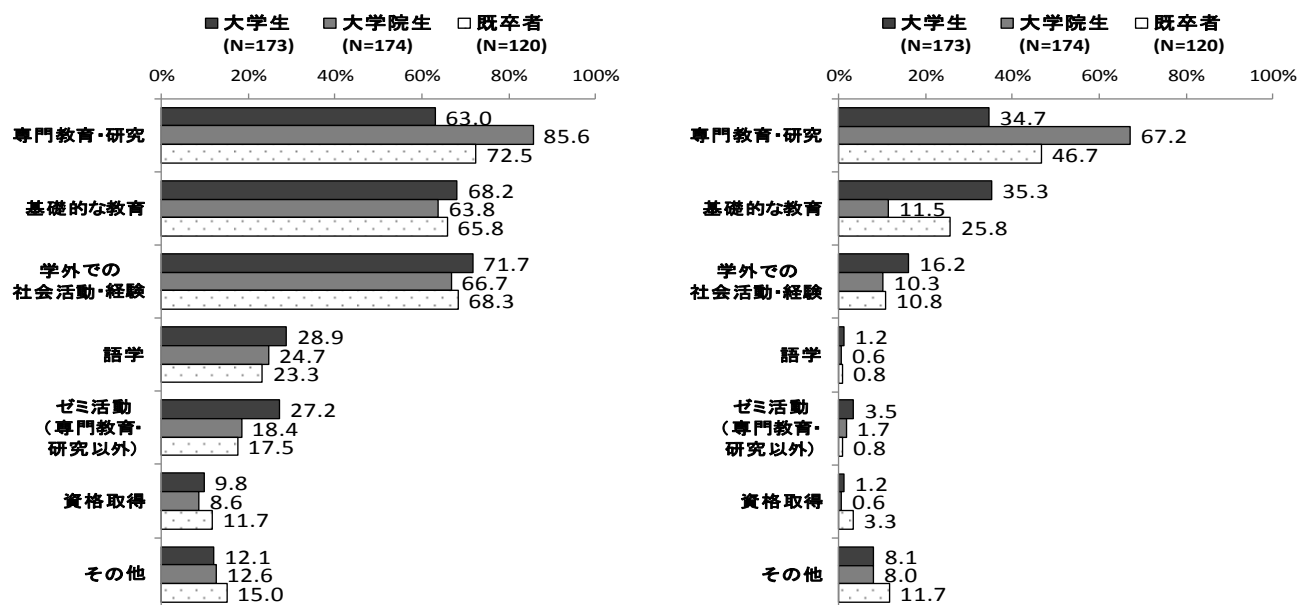
新しい仕事に挑戦する旺盛なファイティングスピリットと多様に変化する環境の中でも目標を達成するタフネスをもった新入社員。

1. 企業が採用で求める人材～大学での学び

新卒者の採用選考において、在学中や卒業後の学びを重視していますか。
大学生、大学院生、既卒者別に回答してください。(単一回答)



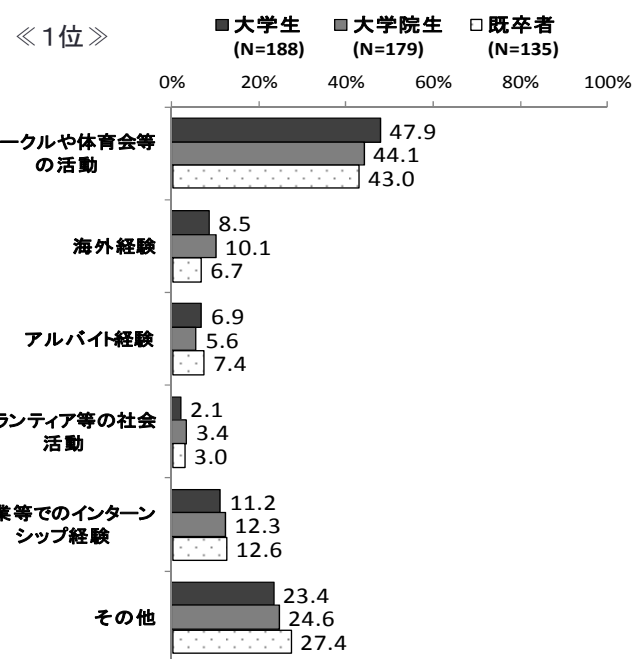
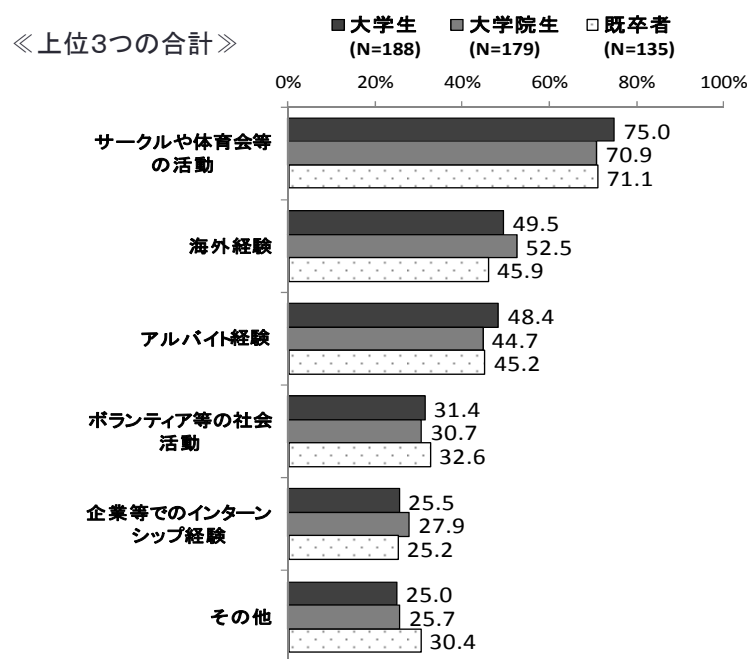
在学中や卒業後の学びを「1.非常に重視」、「2.ある程度重視」している方にお訊ねします。どのような学びを重視していますか。上位3つまで選択してください。



(出所) 経済同友会「企業の採用と教育に関するアンケート調査」結果(2016年調査)から

1. 企業が採用で求める人材～重視する経験

新卒者採用において、重視する経験は何ですか。大学生、大学院生、既卒者別に、上位3つまで回答してください。



【その他】自由記述より抜粋

＜大学生・大学院生・既卒者全般に共通＞

- ・経験の種類ではなく、そこから何を考え、行動し、学んだか
- ・活動によって何を学び、その後の自身の行動・意識改善にどのようなにつながっているのか
- ・種類を問わず、コミュニケーション力、耐性を養う活動
- ・自ら課題に対して挑戦・解決した経験
- ・主体的に何かに取り組んだ経験
- ・研究活動などにおける周囲との協働経験
- ・何かに挑戦しやり遂げた経験または成果を挙げた経験

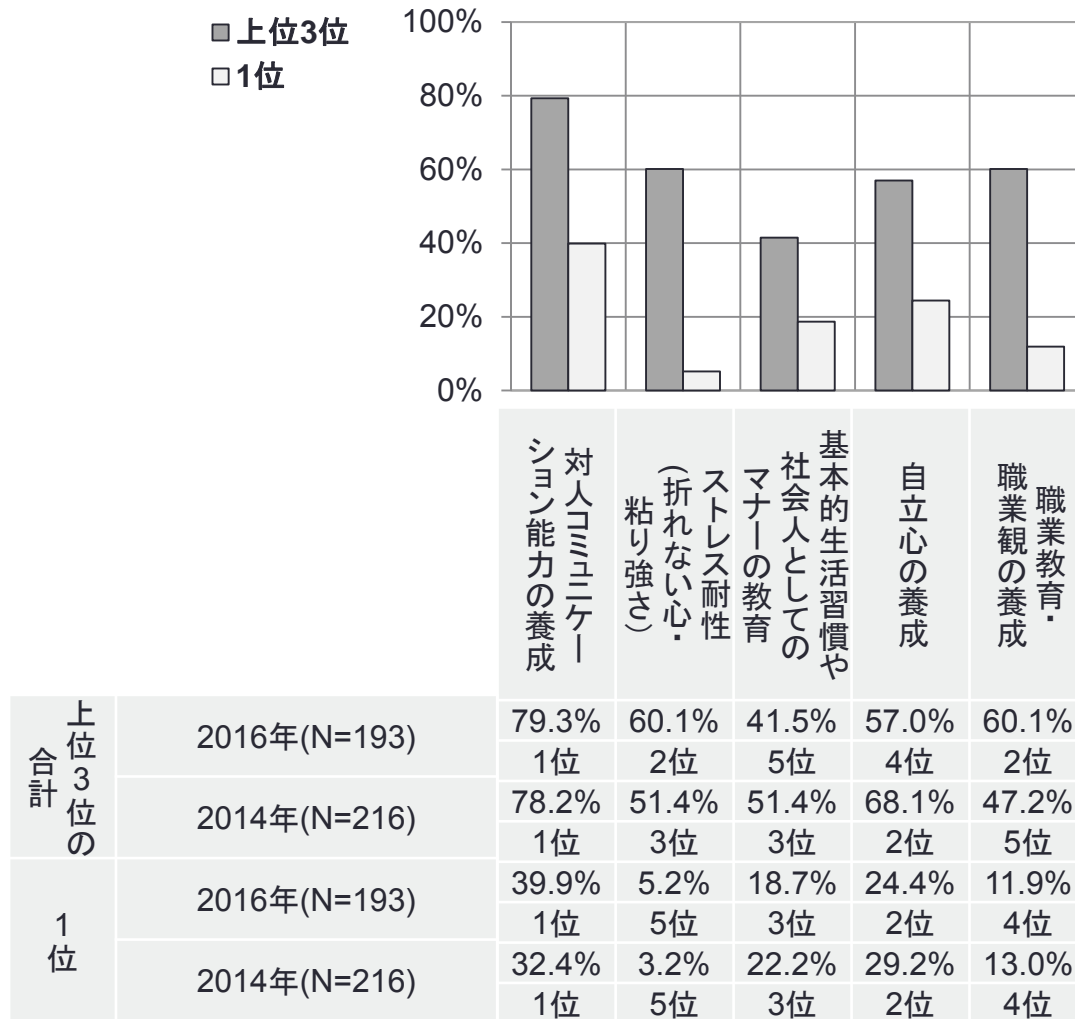
【その他】自由記述より抜粋

＜既卒者＞

- ・実務経験
- ・他社での勤務状況等
- ・卒業後から現在に至るまでに経験した内容
- ・即戦力になりうるかどうか

2. 大学への期待～人格

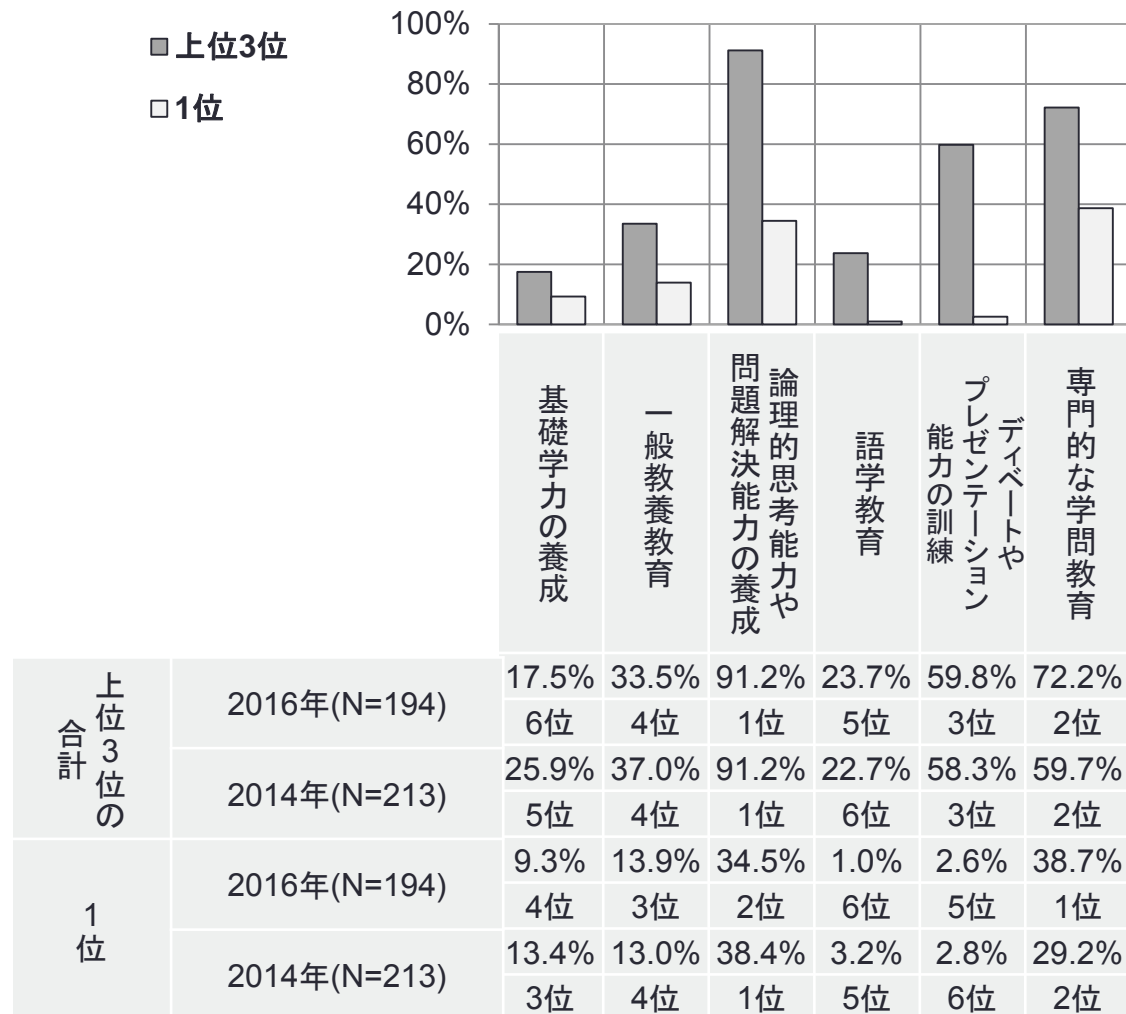
新卒者を雇用する企業として、人材育成の観点から学校教育に対して期待すること



(出所)経済同友会「企業の採用と教育に関するアンケート調査」結果(2016年調査)から

2. 大学への期待～教育

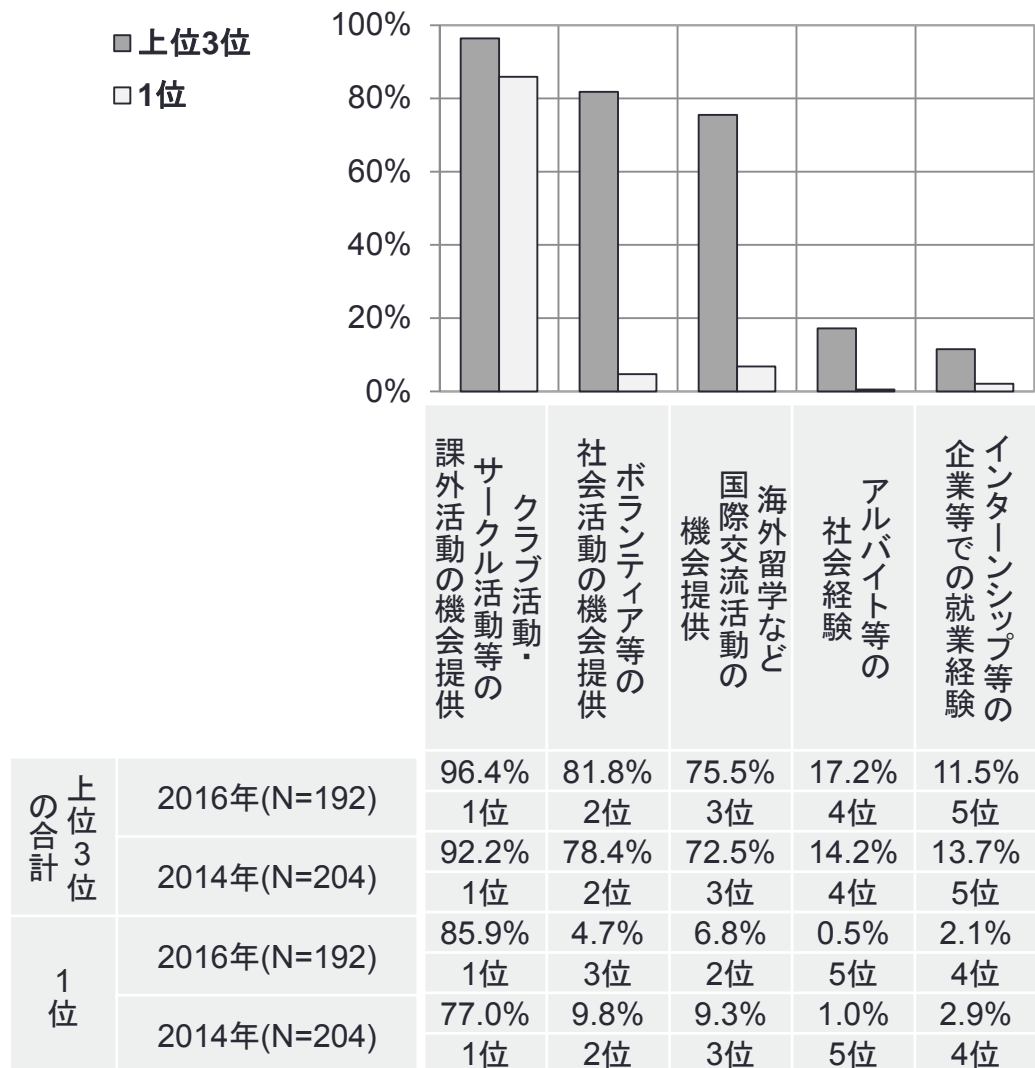
新卒者を雇用する企業として、人材育成の観点から学校教育に対して期待すること



(出所)経済同友会「企業の採用と教育に関するアンケート調査」結果(2016年調査)から

2. 大学への期待～経験

新卒者を雇用する企業として、人材育成の観点から学校教育に対して期待すること



(出所) 経済同友会「企業の採用と教育に関するアンケート調査」結果(2016年調査)から

企業が学生に対して面接で確認したいことの例示

■ 学生時代の学びの成果

- ◆ 大学・専攻で何を学び、何を得たか
- ◆ 教員の講義内容、方法はどうかであったか、理解できたか
- ◆ 課題解決のディベート・アーギュメントで何に苦労したか、異なる意見を聞き、取りまとめに努めたか
- ◆ 学生時代の学びを社会や当社で活かし、貢献できるか、当社でどんなキャリアをデザインするか

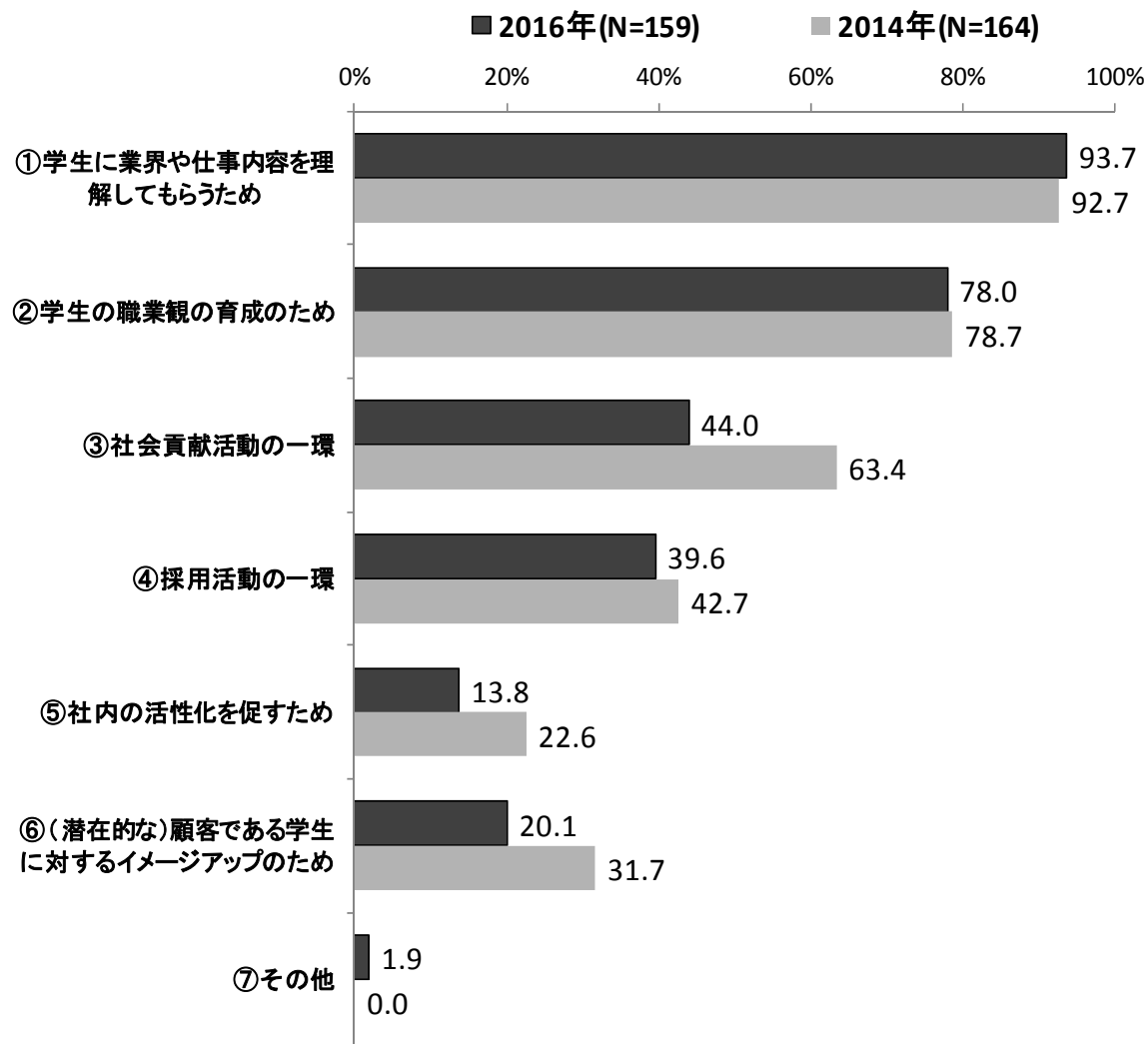
■ 人や社会との交流

- ◆ 部活動やアルバイト経験で何を得たか
- ◆ どんなインターンシップに参加したか、そこで得たものは何か
- ◆ 得意なこと、長所を伸ばしたか、失敗や不得手なこと、短所の克服に努めたか
- ◆ 周囲が自分に求めることを認識し、期待どおりに対応できるか
- ◆ 組織における業務上の相手の納得・理解を得る（友人とは異なる）コミュニケーションが図れるか

■ 求められるコンピテンシー

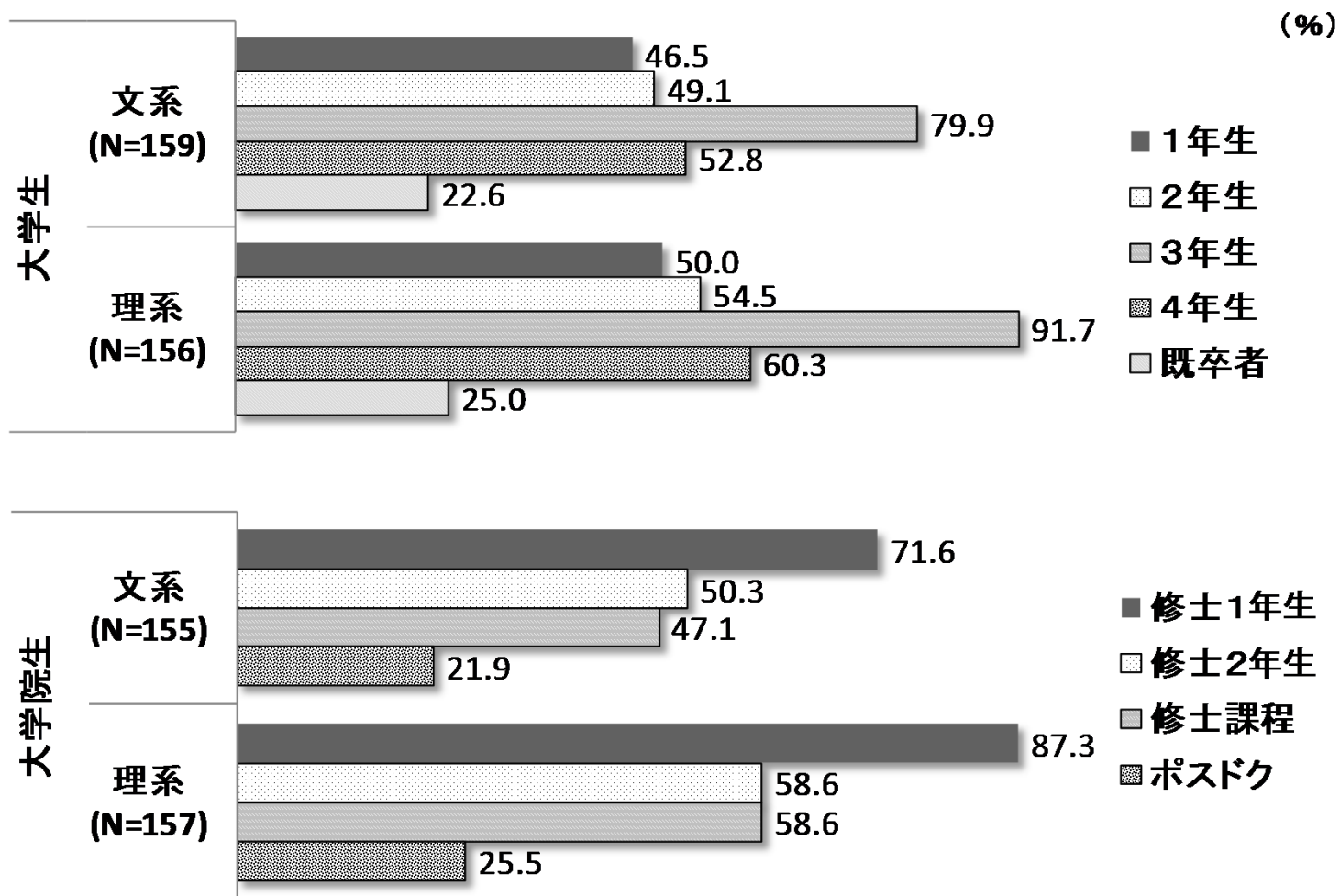
- ◆ 業務に積極的に臨む姿勢や意識はどうか、心構えができているか
- ◆ 耐力・胆力・行動力（打たれ強さ、チャレンジ力など）を備えているか
- ◆ 業務の目的を理解し、手順や段取りをつけられるか（プライオリティ、他チームとの調整、スケジュール管理など）
- ◆ 業務遂行に必要な情報・知識・人材・予算・機材等をイメージして、チーム作りができるか
- ◆ 組織の一員として他者と相互に補完し合い、相乗効果を発揮できるか、成果を出せるか

3. インターンシップ～目的



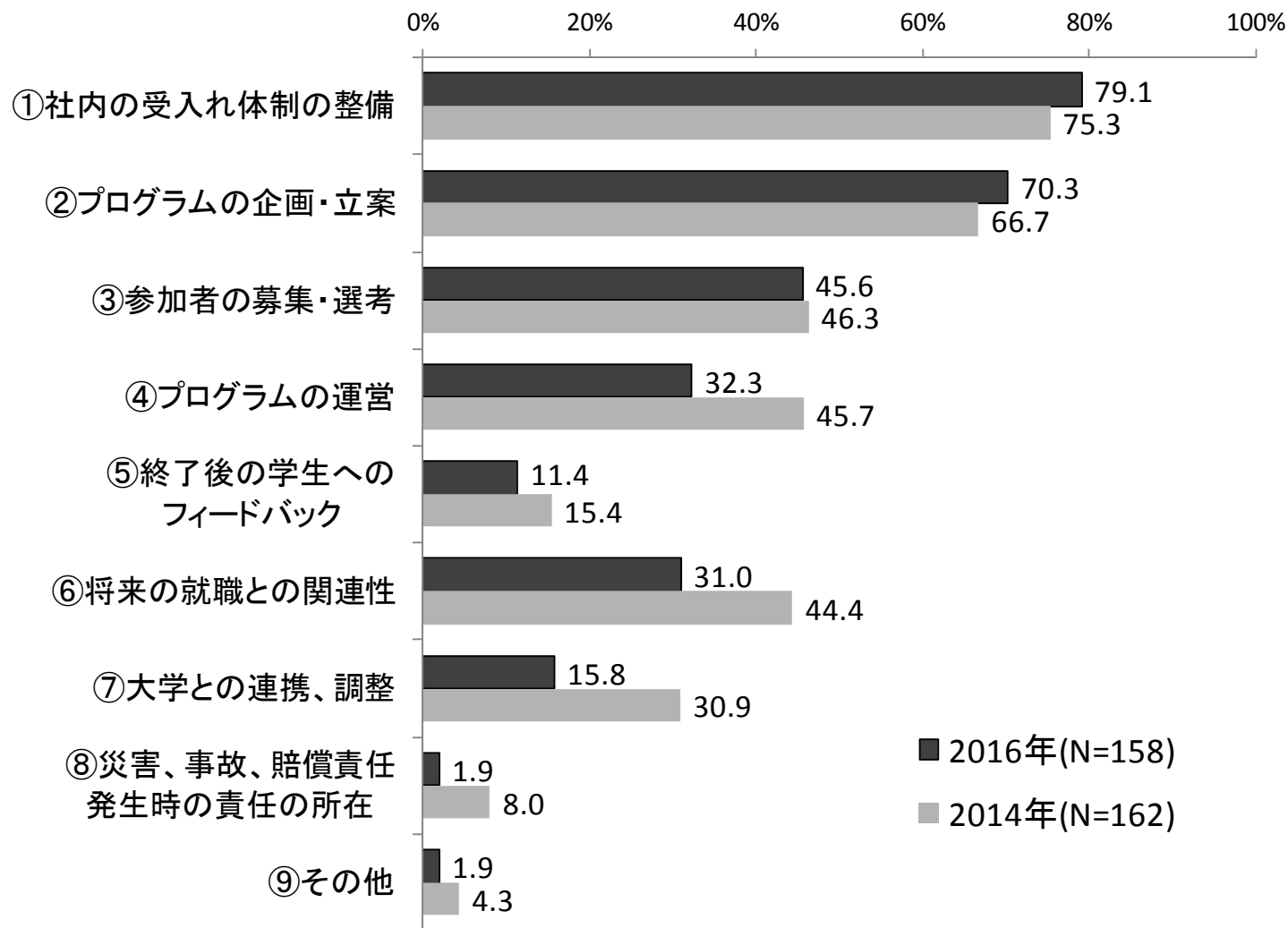
(出所)経済同友会「企業の採用と教育に関するアンケート調査」結果(2016年調査)から

3. インターンシップ～対象



(出所)経済同友会「企業の採用と教育に関するアンケート調査」結果(2016年調査)から

3. インターンシップ～課題

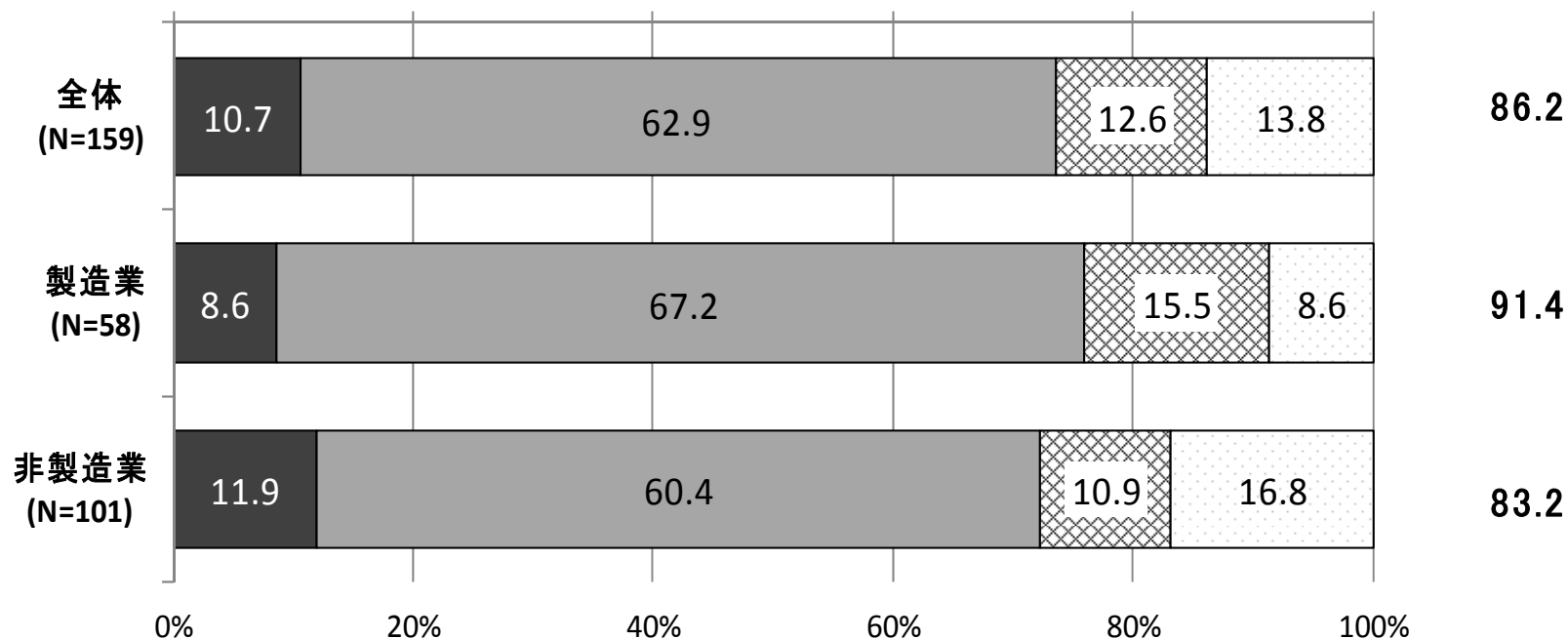


(出所)経済同友会「企業の採用と教育に関するアンケート調査」結果(2016年調査)から

3. インターンシップ～就活との関連

- ①採用・就職活動の一環として、インターンシップを位置付けていくべきである
- ②インターンシップを経験した学生、受入れ企業がともに希望する場合は、採用・就職につながることは望ましい
- ▣ ③将来の採用・就職にあたり、学生、企業ともにインターンシップの結果を大いに参考にすべきである
- ④あくまで教育目的として実施し、採用・就職活動とは切り離すべきである

①+②+③
計
(%)



(注) 各数値は四捨五入しているため、足し上げても100%にならない場合がある。

(出所) 経済同友会「企業の採用と教育に関するアンケート調査」結果(2016年調査)から

※採用はワンチャンスから通年へ

■新卒一括採用(ワンチャンス就活)とインターンシップ

- 学部3年生の多くが参加するのは会社セミナー？
- インターンシップは就業体験とキャリア教育
 - 就業体験で事業や社会を知る
 - 比較的短期でも可能。“社会人生活”体験の意義は大きい。
 - キャリア教育の観点からPBL型の内容を包含する
 - 一か月程度は必要。一定の成果が求められ、結果で評価されることも学ぶ。

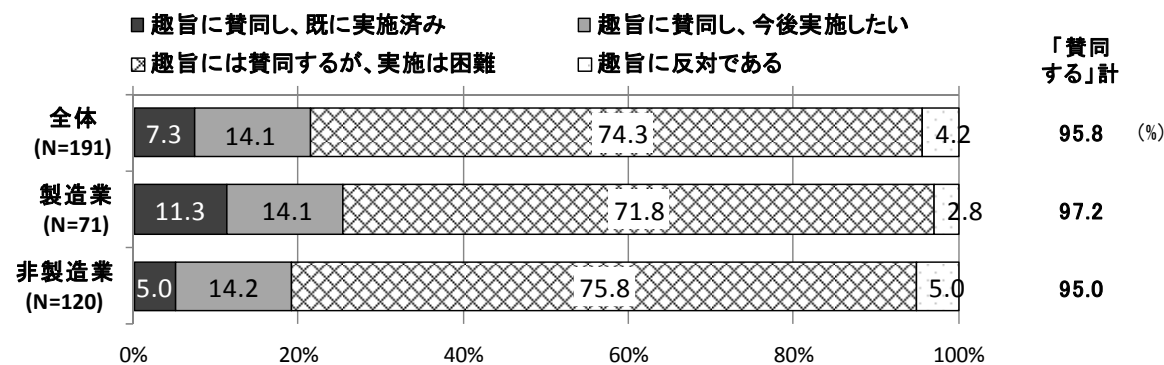
■大学卒業後に通年で採用～経済同友会提言(2016年3月)

- 卒業後の通年採用は学生にとって有益
 - 4年間の学びや体験、努力について、きちんと評価できる。
 - 質の高いインターンシップが浸透、十分な企業研究も可能に。
 - 企業、大学ともに現実面でハードル？

3. インターンシップ～望ましい姿

「経済同友会版インターンシップ」

- 目的は低年次からの職業観の育成とキャリア教育
 - 気づきを得た後の省察と深い学修に期待
- ①対象は学部1、2年生（高専は専攻科1年生）
 - ②大学・高専での単位化（正課）
 - ③期間は原則1カ月以上
 - ④費用は企業負担（宿泊費・交通費等）



(注)各数値は四捨五入しているため、足し上げても100%にならない場合がある。

(出所)経済同友会「企業の採用と教育に関するアンケート調査」結果(2016年調査)から

4. 教育改革委員会(2016年)の活動

「経済同友会版インターンシップ」

～実施2年目に向けて～

2017年度参加予定の企業・大学等

■参加企業 20数社(継続 + 新規)

【継続企業】

デュポン、出光興産、花王、三菱樹脂、野村証券、ANA、
JFEスチール、凸版印刷、富士ゼロックス、
三井住友銀行、個別指導スタンダード、シーエーシー、
ニフコ、キッツ

■参加大学等 10数校(継続 + 新規)

学生数 100名以上(2016年度70名)

【継続大学】

北海道大、小樽商大、お茶の水女子大、新潟大、九州大、
山口東京理科大、高知工科大、上智大、昭和女子大

経済同友会版インターンシップ(2016年)に参加した 学生の声(学部1・2年生)

- 大企業の事業の幅広さ、奥深さ、自己を活かせる可能性の大きさを知った。勉強不足に気づいたので頑張って学び、グローバル企業に就職できる実力を身につけたい。
- 企業で働くイメージが具体的にになり、どのような仕事がしたいか分かってきた。好きなこと、得意なことが明確になり、今後の目標が定まった。
- 勉学が実社会でどのように役立つか早い段階で知ることができた。今後、大学で何を学ぶか方向性が決まった。
- 社員との交流や日報を通じて知識を深め、仕事や生活していくうえで、自らのコアとなるものを見つけることができた。
- 業務を理解するなかで、自己の強みを伸ばし、弱みを改善することを学んだ。
- 他大学の学生と一緒に参加したことで刺激を受けた。その後の交流へ。
- 様々な部署を体験することで、企業の思いを理解できた。
- 時間、コスト意識が芽生えた。
- 社会人として恥ずかしくないビジネスマナー、振る舞いを身につけていきたい。
- 受講が困難な大企業のインターンシップに同友会枠で参加できた。
- 親への感謝の気持ちが芽生えた。



ご清聴ありがとうございました